

コード	204010107
記入日	H23.6.10

事務事業途中評価表

課コード	114
課名	水道課
課長名	吉本 佳文
担当者	濱口 友司

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈良尾地区施設管理費
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	2
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	5
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	337
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	奈良尾地区水道利用者	(対象指標1)	給水人口2,593人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・安心安全な水を供給するため水質検査を行っている。 ・施設維持管理業務を委託している。 (事業費内訳) →賃金 14千円 →需用費 9,491千円 →役務費 7,047千円 →各種点検等委託料 7,970千円 →使用料及び賃借料 8千円 →原材料費 210千円 →合計 24,740千円	① (達成率分析) ***** 保守管理回数 159回 101.3% 157回 平成22年度			保守管理回数159回+ 計画した保守管理回数 157回	*****
		② (達成率分析) ***** 水質検査件数 231件 100% 231件 平成22年度			水質検査件数231件+ 計画した水質検査件数 231件	*****
		② (達成率分析) ***** 水道法第20条に基づく水質検査については、毎年度水質検査計画を策定し、水質検査機関に委託して行う。必要な検査項目、回数は満たしている。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・水道施設の適正な維持管理・運転管理によって、安心・安全な水道水を利用者に安定的に給水することで、快適な生活を提供することを目的としている。そのため、水質検査や各種機器等の保守点検を計画的に行っている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析) ***** 有収率 77.3% 85.9% 有収率実績77.3%-目 標有収率90% 平成22年度				*****
		② (達成率分析) ***** 安定給水日数 365日 100% 安定給水日数365日+ 給水する日数365日 平成22年度				*****
		② (達成率分析) ***** 自然災害や人為的な事故もなかったため、断水することなく安定的に水道水を供給することができた。				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	1,171	1,173	1,014	157	159				
	② 件	1,121	1,121	890	231	231				
成果指標	① %	90.0	77.25	77.2	90.0	77.3				
	② 日	365	365	365	365	365				
総事業費 C (A+B)	千円	226,584	226,584	191,344	35,240	35,240				
直接事業費 A	千円	149,584	149,584	124,844	24,740	24,740				
人件費 B	千円	77,000	77,000	66,500	10,500	10,500				
内訳	従事職員数	人	11.0	11.0	9.5	1.5	1.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	226,584	226,584	191,344	35,240	35,240				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	水道事業管理者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	水道利用者とする事で適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	安定的な水道水の供給が図られている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	漏水箇所の調査・修理による有収率の向上によって更なる安定供給と維持管理経費縮減を図る。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	住民の生活に必要な水道水の供給が不可能になる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	単一事業であり、他の事業と整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	見積、入札によるコスト削減と保守点検等の民間委託拡大による経費縮減が見込める。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小の人員で行っており、すぐには削減困難である。ただし、業務の民間委託を拡大できれば、削減を図ることが可能である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	平成18年10月から水道料金を改定した。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を大幅に見直す必要はない。
		有効性	施設が老朽化しているため修繕箇所が多くなっている。成果向上のため予防的な漏水調査や修繕は必要であり、基幹改良が必要な施設も有している。
		効率性	現在、見積や入札の適正実施。また、施設維持・運転管理の民間委託拡大にて、より高度な施設の維持管理技術の導入や更なる経費の縮減を図る。
		課題に向けた改善策	見積や入札の適正実施。また、施設維持・運転管理等事務の民間委託拡大を更に進め経費の縮減を図る。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	水道の安定的な供給のため、施設の維持・運転管理には万全を期すこと。また、基幹施設の改良等は中長期の計画に則り実施していくこと。
		効率性	施設の適正な維持管理に努め、経費の節減を図ること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。